

# 後援会ニュース VOL.5

2011年7月

## 総会・講演会お知らせ号

発行 そえのふみ子後援会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家 5-1-10-103

TEL/FAX 048(883)4942

### ネットワークャーとして、主体性を持った翻訳家として

暑い日が続きます。相も変わらず国政の世界は責任の押しつけあい  
に大事な時間を費やし、テレビもますます支離滅裂な無責任さを露呈させて  
います。個人的には白紙投票で意思表示をしたいくらいですが。

みなさんいかがお過ごしでしょうか。早くも選挙から3ヶ月が過ぎ、  
その後の議会活動報告も含め、後援会総会を行いたいと思いますので、  
お知らせいたします。

当日は、そえのさんの議会代表質問等についての報告、また「日本防  
災士会広報委員長の半田亜季子さん」をお迎えして、防災について、様々  
なお話をしていただき、また皆さんからのご質問にも応えていただこう  
と思っております。プロフィール等裏面をご参照ください。

机上の論理ではない、現実として私たち個人ができる事、行政に求め  
ていく事等、テレビ出演もなさっている半田さんですが、好きに喋って  
くださいというこちらの要望に、どうやらワクワクなさっているよう  
ですから、ぜひお誘いあわせてお越し下さい。  
(斉藤記)



### ●そえのふみ子後援会総会●

15:00~15:30

### ●みんなで考える「防災」の課題●

東日本大震災が浮き彫りにしたもの  
半田亜希子さんに聞く

日本防災士会広報委員長

15:30~17:00

—そえの代表質問報告（資料配布）—

日時：7月31日（日）

北浦和カルタスホールにて（北浦和駅東ロクイーンズ伊勢丹3F）  
午後3時より午後5時まで

## 半田亜季子さんプロフィール

東京都出身。私立跡見学園女子大学英文科卒業。  
NPO法人「日本防災士会」常任理事・広報委員長  
「社会貢献学会」東北福祉大学・神戸学院大学・工学院大学連携（文部科学省）理事  
東北大大学院「防災システム論」（心理）講師  
災害心理士  
警察庁被害少年サポーター等。

テレビ・ラジオリポーターを経て、1991年、モスクワ放送でアナウンサーをされていてクーデターに遭う。8両の戦車に銃口の先を向けられ放送。人間の無力さを思い知らされる。また1986年4月26日に起きた「チェルノブイリ事故」のさ中に一人息子を出産し、東京～モスクワ間をわが子を背負い、食料・衣料等120キロの段ボールを運び往復した経験がある。

帰国後、日本は地震国なのでいざという時に備え、防災士の資格を取得。警視庁・消防署・学校等で講演活動を通じ、極限に陥った時の身体と心の動き・身の守り方を分かりやすく、かつ楽しく解説する。

著書に「被害者だって笑うんです！」（産経新聞出版）・「裁判官は宇宙人！」（講談社）等がある。

新聞連載 産経新聞社会面「妻が見たペレストロイカ」（10回）

〃 「政変の街から」（32回・特別社会部長賞）

〃 文化面「自由に乾杯」（12回）

テレビ フジテレビ 「タイム3」

「木村太郎の地球報告」

日本テレビ 「情報ツウ」

「ニュースevery」

「ズームインサタデー」

ラジオ ニッポン放送 「高嶋ひでたけの中年探偵団」

「高嶋ひでたけのあさラジ！」

J-WAVE 「LOHAS TALK」 1週間

---

### ●当日、そえのさんの6月議会での代表質問内容をお配りします。

- 1, 安心して安全に暮らせるさいたま市のために
- 2, 誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例（ノーマライゼーション条例）を生かす取り組みについて

そえのさんの議員としての活動、その内容をみなさんにお伝えしていきます。

私たちが選び付託したそえの議員です。今後の活動のためにも、ぜひご意見等お願いします。

なお、返信用はがきを同封いたしましたので、お手数ですが出欠をお知らせ下さい。よろしくお願いします。

〈そえのふみ子後援会事務局・斉藤〉